

2019.10.27 旧道から樽前山を見上げて歩く山旅、北山（932m）

CL 相馬、A 班 L 藤木、SL 長沼、近藤、酒井、津川、川村、太田

天候：晴れ/くもり、気温：5-10℃位 距離 9.3Km、獲得標高 797m、登り 2 時間 50 分、下り正味 1 時間弱

例年より冬の訪れが遅い。道道脇の見事な紅葉にうっとり。いつもは車で通りすぎる 5 合目からヒュッテまで旧道を散策し、樽前山のお隣の北山（932 峰）目指す山旅、どんな出会いがあるのかな？

8：00 5 合目着、回送のため藤木車をヒュッテ前 P へ移動、すでに満車とのこと。

佐藤さんの体操で体をほぐす、ユニークな号令・動きに皆クスクス、体目覚める。

8：36 出発。紅葉残る疎林の踏み跡は明瞭。2 か所路肩崩落、ぞっ、思わずのぞき込む。

葉が落ちて林が明るい、キノコ無いね、もう終わったのかな。前方に樽前外輪山、稜線を歩く人影が小さい。ヒュッテへ向かう C 班と別れた後は低木の隙間を歩いて本流に合流、市道から道道に出た感じ。

10：16 本道にでたら人通りが多い、やはり人気の山だ。正面に北山ピーク、お隣風不死岳、支笏湖の湖面はブルーグレー、向うに紋別岳、背後に苫小牧の街と太平洋、進行左手に樽前山ドームと東山、360° の眺望見事。どこまでも見渡せて北山もすぐそこに感じるがなかなか近づかない。

11：03 北山と外輪山とのコル着、風が冷たい。ここからは急登、最後のひと汗。

11：26 北山 932 ピークにとうちゃこ。目の高さに溶岩ドームがあるよ。西山まで丸見え。

11：33 下山開始、途中おなかが空いた人多数、ランチ待ち遠しく歩み早まる。

12：01 岩場の広場でランチタイム 30 分。日差しがあるとあったかい。

12：57 ヒュッテ着。C 班と合流。

山すそは錦秋、中腹から上は冬を感じる風の冷たさだった。途中地震計があり、この山が活火山と再認した。1667 年に大規模マグマ噴火以来 60-70 年毎に噴火、1909 年溶岩ドーム形成、以降は水蒸気噴火のみ、1981 年の水蒸気噴火を最後に大きな火山活動はない（Wikipedia より抜粋）。いつかあの溶岩ドームに登れるのか、それともマグマを吹き出す日が来るのか？樽前山の背中・裏側？（太平洋側がおなか表側としたら）が見えて新鮮でした。



体操伸び伸び



足元の紅葉



崩落地点



旧道の佇まい



樹間から稜線



登山道本線に合流



前方は風不死岳



樽前の山すそを背に



曇天映す支笏湖と紋別岳



秋も終わる



山頂にて全員集合、風が冷たい



目の高さに溶岩ドーム



分岐より臨む 932 峰、本日の主役



下山時、光を集めて支笏湖ブルー

いつもとは一味も二味も違う樽前山を眺める山旅でした。次はスキーで滑りたいなあ。

相馬リーダーありがとうございました。

太田記